

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0207 - 04

事務事業名	男女共同参画啓発事業関係経費	担当組織	総務部	男女平等推進センター
-------	----------------	------	-----	------------

事業特性														
	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	2	－	3	－	1	－	1
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsゴール		1	3	5	10	16	17		
事業を構成 する予算事業	①	男女共同参画啓発事業関係経費			②									
	③				④									
	⑤				⑥									

政策体系(令和5年度基本計画)												
地域づくりの方向	多様性を尊重し合えるまち				政策	男女共同参画社会の実現						
施策	あらゆる分野における男女共同参画の推進【重点】				政策番号	2-3-1						
関連する個別計画	第5次としま男女共同参画推進プラン				計画策定年度	令和4年度	計画期間	5年				

1. 事業の概要・指標の達成状況										
(1)実施の対象 (具体的に記載)		区民及び男女共同参画・ジェンダー平等関連事業に関心のある方、事業者、行政								
(2) 事業の目的・ 期待する効果		「男女共同参画・ジェンダー平等・多様性の尊重」の意識が区民・事業者・行政に浸透し、あらゆる面において「男女共同参画・ジェンダー平等・多様性の尊重」の視点をその行動、選択に反映できるようになる。								
(3)事業概要		①男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現に向け啓発事業(主催・共催)や登録団体との協働によるエポック10フェスタを実施する。②男女共同参画情報誌を、区民と企画・発行する。								
(4) 目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	①啓発事業講座 主催 4事業・8回実施 参加者延139名、共催 13事業・14回実施 参加者延461名、男女共同参画都市宣言記念講演会 1事業・1回実施 参加者100名、パートナーシップ制度5周年記念事業 2事業・各1回実施 参加者50名、エポック10フェスタ 参加者延806名(イベント536名・展示270名) ②えぽっく・めいかーNO.52 発行部数2,500部、区民企画会議計6回開催								
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績) (達成率)		6年度(計画値)
	①	「性別等により、差別されない社会である」と思う区民の割合	↗	%	27.4	36.0	27.4	76.1	39.0	
	②	「講座を通して男女共同参画社会について考えるきっかけになったか」の平均点	↗	点	4.1	4.5	4.21	93.6	4.5	
	③									
指標の説明		①協働のまちづくりに関する区民意識調査の数値②各講座受講者アンケートによる平均点(5点満点)								
達成状況		未達成	未達成または一部未達成の理由	①最近のジェンダーギャップ指数や多様な性自認、性的指向の人々に対する発言などの報道の影響及び人権意識の高まり②男女共同参画社会への認識の深まりに伴う期待水準の上昇						
(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績) (達成率)		6年度(計画値)
	①	区の附属機関・審議会等の女性参画率	↗	%	39.8	44.0	41.0	93.2	46.0	
	②	主催・共催事業数	↗	件	17	17	20	117.6	17	
	③	講座・講演会・シネマ・フェスタ等参加者数	↗	人	1,642	1,490	1,566	105.1	1,590	
	指標の説明		①審議会等に関する調査資料(企画課)から各年度4月1日時点で休会中・区政連絡会・区職員のみで構成されているものを除いた各審議会等における女性の割合の平均値②主催講座及び登録団体、関係機関との共催事業数③共催事業を含めた各事業参加者数							
達成状況		一部未達成	未達成または一部未達成の理由	学識経験者(専門職種)を構成メンバーとする附属機関等において、女性の絶対数が少ない、また、充て職になる管理職の女性比率が低い等がその理由の一端となっていると考えられる。						

2. 事業費の推移												
単位		4年度		5年度			6年度					
(金額の項目:千円 人数の項目:人)		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R5決算比)				
事業費	A	4,170	3,462	3,031	2,259	74.5%	1,915	-344				
財源内訳	B							0				
国、都支出金								0				
使用料・手数料								0				
地方債・その他								0				
一般財源	C=A-B	—	3,462	—	2,259		1,915	-344				
正規職員人数※小数点第1位まで		1.0	名	0.8	名		0.8	名				
会計年度人数※小数点第1位まで		0.1	名	1.8	名		1.8	名				

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	3指標が目標未達成ではあるものの、すべて75%以上の達成率であるため。					
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。								
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	①目標に対する成果状況を踏まえた課題 男女共同参画社会の実現に資するため、これまで参加の少なかった若年層・男性などの興味をひく啓発事業の企画・実施、手法の工夫が課題である。								
	②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 男女共同参画社会実現に尽力する個人や団体の活動及び交流の場の提供								
	【業務(事務)改善に向けての取り組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒								
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。								
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) 男女共同参画社会の実現に資するため、これまで参加の少なかった若年層・男性などの興味をひく啓発事業の企画・実施、手法の工夫が課題である。								
	②現状の実施状況における所管課の認識								
	事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由	現基本計画の施策2-3-1, 2を推進するためのメイン事業であり、今後も引き続き実施していく					
	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	委託の方が効率的な講座については既に委託で実施している。					
	サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	最小の人員・経費で多種多様な事業を実施している					
	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名						
	③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況								
	対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	オンラインまたはハイブリッドで開催したことで、前年度より参加者数が増加した講座があった。	予算措置	無		
	はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)								
	対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由					
有	対応、改善の内容	講座のターゲット層に合った開催時間、方法の検討			予定時期	令和6年度			
	予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由				
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒								
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。								
	①区が実施する理由(複数選択可)								
	☐ 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック		☐ 法律の要請を受けて行う事業である。						
	☐ 民間事業者等に同様のサービスがない。		☐ その他(理由)						
	②区民ニーズ								
	区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	2	指標番号(活動)	3	サービス利用者数	50名以上
				推移	↗	推移	→		
	有・無どちらも								
	区民ニーズに対する認識	区民一人ひとりの人権と多様性が尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会実現のために実施する啓発事業であり、区民ニーズは高い。							

総合評価(d)=a+b+c	ランク2
---------------	------

4.【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について			
(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現のため、ジェンダーギャップ指数の推移に留意しつつ、施策の活動指標に関連する女性の就労・自己実現に係る事業を主催・共催で企画・実施するとともに、年齢・性別等に関わらず多くの区民の参加を促せるよう、引き続き啓発事業の工夫・充実に努めていく。		
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	ハローワークや公益財団法人東京しごと財団等の関連団体との共催事業の実施や、オンラインでの開催、オンラインを併用したハイブリッド方式で開催した。		
改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)	予定通りに進んだ	根拠	講座参加者数が前年度に比べ増加しているため。

5. 令和6年5月末時点の状況	
①令和6年度当初の課題・ニーズ	区民のジェンダー平等意識の醸成を図る
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	・第2期東京都性自認及び性的指向に関する基本計画策定(令和5年3月) ・性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律施行(令和5年6月23日)
③令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	区民の意識向上に向け、ジェンダー平等に関する事業を企画・実施する。
④令和6年度の事業進捗状況	・大正大学生へのアンコンシャス・バイアスに関する講義(4/9) ・多様な性自認・性的指向に関する理解促進展示(4/12～5/11) ・エポック10シネマの開催(4/23、6/4) ・エポック10プレフェスタの開催(5/31、6/1) ・エポック10フェスタの開催(6/7～9)
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	・多様な性自認・性的指向が当たり前の世の中になるように周知啓発をしてほしい。 ・男性向けの講座も開催してほしい。
⑥上記⑤に対する対応	引き続き機をとらえて展示を行うとともに、関係機関や団体等と連携しながら、多様な性自認・性的志向に関する講座や男性向け講座なども含め、ニーズやターゲットに合わせた、ジェンダー平等をテーマとした講座・講演会等を開催する。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望（f）	現状維持	根拠	現状予算内で工夫して実施する。
今後の事業の方向性（d+e+f） （現状の評価および施策評価を踏まえた評価）	A	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載（改善方法、課題への対応など）			
男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現に向け、区民の意識向上にとどまらず一人ひとりが行動を変えるきっかけとなるように、年齢・性別等に関わらず多くの区民の参加を目指し、引き続き啓発事業の開催方法やテーマ、周知方法の工夫・充実に努めていく。			